

# 避難所の「避難者カード」を 電子化したい！

## (詳細)

災害が発生した際、避難所に来られた方には紙に印刷された「避難者カード」を記入頂き、そのカードによって人数の把握やその他、例えば「既往歴」や「妊娠をされている」などの情報を把握し、避難所運営に役立てる計画にしている。しかし、最終的な集計に時間がかかるほか、混乱した受付の状況で正確な記入ができるかどうかの問題として生じる可能性がある。そのため、電子データで保持し運用できる仕組みにしたい。

## 【記載事項】

### 1 選択した地域課題

避難所の「避難者カード」を電子化したい！

### 2 アイデアの内容

- ① 避難者の「スムーズな誘導」
- ② 避難者数の「素早い把握」

**アイデアの内容①**

**避難者の「スムーズな誘導」**

**避難者情報の電子化**

# 避難者情報の電子化

現在

避難所受付前に各自記入

ながたまちこうか ひなんしゃ  
長田町校下 避難者カード / Evacuee card / 避难者卡 / 피난자카드

うけつけばんごう 受付番号 Reg.	100						
おなまえ 氏名 name	長田太郎		せいべつ Sex 性別	おとこ (Male) 男	おんな Female 女	ねんれい Age 年齢	51
じゅうしょ 住所 Add or Country	長田1丁目○番△号			Need 必要?	Yes はい		
じたく ひかいていど 自宅の被害程度 House Condition	<input type="checkbox"/> 住める Livable		<input checked="" type="checkbox"/> 住めない Not Livable		いりょうけい 医療系の資格・技能 Health Profession's	<input type="checkbox"/> 医師 Doctor	
					<input type="checkbox"/> 看護師 Nurse	<input checked="" type="checkbox"/> 介護職 Care Worker	
す ちようかい ほか 住んでいる町会 他 Neighborhood association							
折違	上大隅	下大隅	西醒	中橋	広岡	長田第二	長田本三
深川	親和会	長田弓	長田本一	JR 広鉄	西念新	駅西中央	上古道
中古道	下古道	元菊本	元菊中	向中	市内	県内	旅行者 Traveler
				( )町			



将来

平時に各自QRコード作成



# QRコードの作成用「アプリ」について

- 誰もが簡単にQRコードが作成出来る「アプリ」とする
- QRコードを「持ち歩く」ため、スマートフォン・タブレット携帯電話(ガラケー)等、可能な限りどのような端末でも使用可能な必要最低限のものとする
- スマートフォン等の端末を持っていない、もしくは端末の利用に慣れていない方には、PC等で作成したQRコードをプリントアウトしてそれを避難用品等と一緒に保管する事をすすめる
- 入力する情報については、個人情報に配慮し、当初は避難所開設時に必要な項目に絞るが、その後必要に応じ項目を増やしていく

# QRコードの「読み取り用端末」について

- 各避難所に最低限の読み取り用端末を配置する  
(可能な限り行政からの貸与という形で)
- 但し、災害の影響で貸与された端末が使用不可になる可能性もあるので、個人所有のスマートフォン・タブレット等の端末を一時的に集計作業に使用できるように準備しておく  
この場合、自主防災会のメンバーであらかじめ誰のものを使用するかを決定しておく



# 受付(待機)時間の短縮

現在(想定)

避難者カード記入待ち

入口  
ENTRANCE



将来(理想)

QRコード読み取り待ち



# 密の予防(感染症流行時)

現在(想定)

避難者カード記入待ち(密の状態)

入口  
ENTRANCE



将来(理想)

QRコード読み取り(密の予防)





**アイデアの内容②**

**避難者数の「素早い把握」**

**避難者数の集計作業の改善**

# 避難者数の集計作業の改善

現在

手作業による「仕分けと集計」



将来

アプリによる「仕分けと集計」



# 集計作業改善の効果

正確な避難者数の早期把握



迅速な公的機関への救助要請・支援物資の手配など



安定した避難所環境の早期確立



## 「QRコード化のメリット」

- **避難所開設時のスタッフの負担軽減**
- **基本的に避難者自身が入力したデータをそのまま集計に使用するため、転記ミスなどが発生しない**

# 「QRコード化のデメリット」

- 使用する端末の確保
- 電子データのため、消失や意図しないデータの書き換えが生じる可能性がある

\* 基本的にデータ内容の変更は「避難者自身でのみ」可能とする